

光が丘第三小学校・光が丘第四小学校 統合準備会(第4回) 要点記録

開催日時	平成20年9月22日(月)午後7時~午後7時55分	
会場	光が丘第三小学校 図書室	
出席者	委員	長田信彦、岩本重雄、長久保昌典、赤羽根智、當山真浩、羽毛田正子、鈴木琢磨、村木智行、平原里美、福島幸恵、内藤佐世子、照井博子、春日清香、西脇和子、小澤利彦、高橋司郎、高原洋子、深野良子、横尾安子(敬称略)
	その他	学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	5人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第3回)の要点記録の確認 2 統合準備会のこれまでの協議状況について(報告) 3 統合後の学校跡施設活用について(報告) 4 学校指定用品の公費負担について 5 統合新校の校名の選定について 6 その他 	

1 統合準備会(第3回)の要点記録の確認

事務局

統合準備会(第3回)の要点記録(案)を配付した。修正・意見等があれば9月29日(月)までに連絡をいただきたい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

2 統合準備会のこれまでの協議状況について(報告)

事務局

8月22日(金)開催の教育委員会、28日(木)開催の区議会(文教委員会)において、各統合準備会のこれまでの協議状況についての報告を行った。その中で、第3回統合準備会で確認された、閉校に伴う歴史の保存方法と統合新校における大規模改修工事の概要についての報告も行った。

- 質疑なし -

3 統合後の学校跡施設活用について（報告）

事務局

区では、光が丘地区の小学校の統合・再編に伴う4つの小学校の跡施設活用について、検討を進めている。平成20年7月、「学校跡施設活用に関する基本方針」を定め、学校跡施設活用の基本的な考え方を示した。今月中には、学識経験者、地元関係者、公募区民等により構成する「学校跡施設活用検討会議」を設置する予定である。今後、学校跡施設に導入する機能や整備する施設などの検討を進めていく。

- 質疑なし -

4 学校指定用品の公費負担について

事務局

今後、統合新校では、新たに学校指定用品（校帽、体育着、水泳帽子など）を指定することになる。学校指定用品については、統合時に買い替えずに、旧学校のものをそのまま使用することもできるが、通学の安全面や統合に伴う児童の心理面への配慮から、教職員や統合準備会の協議で買い替えたほうが望ましいと判断したものは、その費用を区が負担する予定である。そのため、統合対象校の教職員で構成する教職員連絡会で統合新校の学校指定用品を検討し、その後、統合準備会で協議することとしたい。

（他区の公費負担の状況を説明〔平成20年4月開校〕）

- (1)中野区立桃花小学校・・・校帽、体育着（上・下）、水泳帽子を統合前年度の1～5年生に現物支給。
- (2)杉並区立天沼小学校・・・上履き、シンボルマーク入りのバンダナ（開校記念品として）を統合新校の1～6年生に現物支給。
- (3)墨田区立花吾孺の森小学校・・・校帽、体育着（上・下）、水着、水泳帽子、紅白帽子を統合前年度の1～5年生に現物支給。

副会長

現在の両校の学校指定用品を教えてください。

委員

光が丘第三小学校の学校指定用品は、校帽、体育着、水泳帽子、紅白帽子、上履きである。上履きは黄色で指定している。

委員

光が丘第四小学校の学校指定用品は、校帽、体育着、水泳帽子、紅白帽子である。上履きは特に指定していない。

副会長

統合時に買い替えが必要となる学校指定用品については、まず教職員で話し合った後、統合準備会で協議することとしたいがよいか。

- 異議なし -

5 統合新校の校名の選定について

(統合新校の校名の選定方法について、事務局から説明)

【概要】

・他区の事例を説明。選定方法は、以下の4種類に分類できる。

- (1)統合対象校の児童、保護者および地域住民から校名案を募り、統合準備会において校名候補を決定する。
- (2)地域を限定しないで全区的に校名案を募り、統合準備会において校名候補を決定する。
- (3)統合準備会の各委員が選出母体の校名案をまとめ、それを統合準備会で話し合い、校名候補を決定する。
- (4)統合準備会の各委員が校名案を出し、それを統合準備会で話し合い、校名候補を決定する。

事務局

統合新校の校名決定までのスケジュールについては、平成21年4月から5月にかけて教育委員会で校名を協議し、最終的には、区議会第二回定例会での条例改正が必要になる。そのため、今年度中に各統合準備会で校名候補を決定してもらいたい。そこで1つ提案がある。今回の統合対象校は8校とも光が丘地区に位置しているが、4つの統合準備会ごとに統合新校の校名候補を検討した場合、関連性のない名称や同じ名称になる可能性がある。また、複数の委員から「校名については、調和や統一性を図ってほしい。」という意見も出ている。そのため、統合準備会ごとに、校名候補の選定作業に入る前に、校名候補を決めるにあたっての一定のルールを検討するため、統合準備会連絡会を設置したい。統合準備会連絡会で、校名の候補を決める一定のルールを定めた後、11月に開催予定の統合準備会から、校名についての具体的な検討に入りたい。

【統合準備会連絡会の概要について】

(1)設置目的

統合新校の開校に向けた課題のうち、関連性や統一性に配慮すべき事項について、各統合準備会の代表者により調整を図る。

(2)構成員

統合準備会の会長または副会長（4名）、統合準備会の委員代表（3名ずつ 計12名）、学校教育部長、新しい学校づくり担当課長の計18名

(3)任期

統合準備会委員の任期と同じ

(4)公開

傍聴は可とし、議事録はホームページで公開する。

委員

校名については、各統合準備会の調整を図った方がよいので、統合準備会連絡会の設置が必要である。

副会長

統合準備会連絡会を設置することについてはよろしいか。

- 異議なし -

委員

統合準備会からの委員代表は3名で決まりなのか。

事務局

委員数を20人以内にしたほうが、会議がしやすいと考えた。そのため、各統合準備会から4人ずつとし、会長・副会長以外は、3名の選出が妥当であると考えている。

副会長

統合準備会連絡会には会長に出席していただきたい。なお、会長が出席できない場合は、私が出席する。

会長

それでよい。

委員

代理出席は可能か。

事務局

統合準備会連絡会については、各統合準備会の了解のもとに、統合準備会全体で協議が必要となる事項について調整を図っていく場である。そのため、代理出席は可とし、その選出方法については、各統合準備会の判断に任せたい。

会長

この統合準備会から、会長・副会長を除いて委員代表を3名選びたいが、校名のルールを決めるということであれば両校の保護者から1名ずつ、地域から1名がいいのではないか。

- 異議なし -

副会長

委員同士で話し合ってもらう時間を設けるので、立候補または推薦してもらいたい。

(話し合いの結果、當山委員、平原委員、高橋委員が選出される。)

副会長

統合準備会連絡会に出席する委員については、當山委員、平原委員、高橋委員としたいが、よろしいか。

- 異議なし -

事務局

第1回統合準備会連絡会については、10月15日(水)午後7時から、光が丘地区の公共施設で行うことを予定している。後日、開催通知を送付するので、出席をお願いする。

委員

統合準備会連絡会の傍聴は可能か。

事務局

傍聴可能であり、議事録もホームページで公開する。

6 その他

委員

光が丘第三小学校に通学する児童の保護者は、新校の通学路の安全確保について不安があるので、保護者説明会を開催してもらえるとありがたい。

副会長

通学路の指定は、学校が行っており、光が丘第三小学校は、現在、通学路を指定していない。新校の通学路の安全確保については、今後、統合準備会の中で協議する。

委員

統合新校の校舎改修の件だが、特別支援学級の耐震壁の調査はどこまで進んでいるのか。

事務局

耐震壁の調査については、改修工事の設計の中で行っている。年内には調査結果が出ると聞いている。詳細が判明次第、報告する。

委員

学校跡施設活用検討会議の協議内容は、統合準備会へ報告してもらえるのか。また、地元説明会について、教えてほしい。

事務局

今後、随時報告する予定である。なお、区のホームページ上には協議内容等を掲載しているが、地元説明会の詳細が分かり次第、報告する。

副会長

次回の統合準備会の日程を決めたい。今回は 11 月 7 日（金）午後 7 時から、光が丘第三小学校で開催したいと思うがよいか。

- 異議なし -

副会長

本日は、これをもって終了する。